

第104回 岡山透析懇話会

プログラム・抄録集

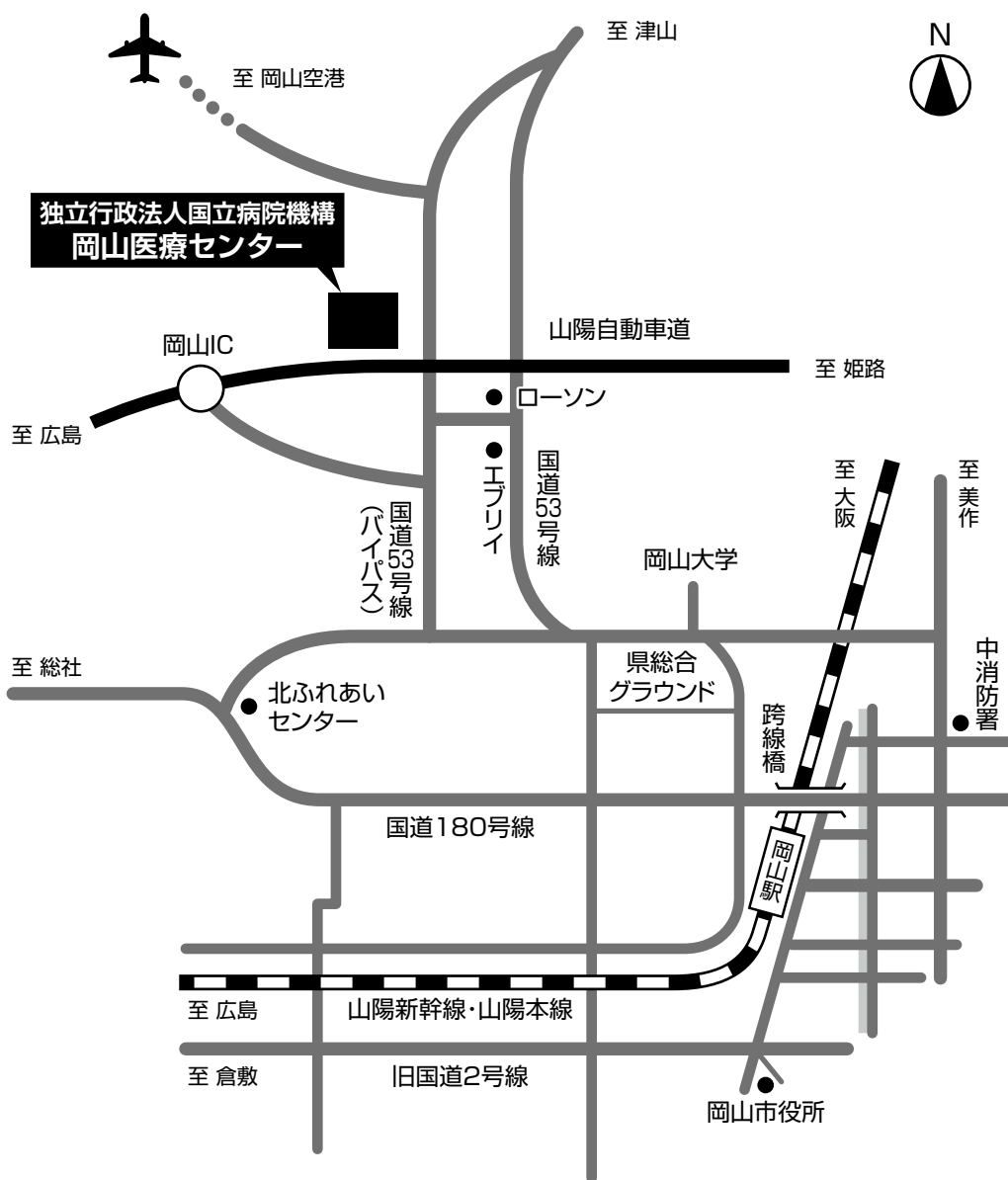
会期：令和元年6月15日(土)

会場：独立行政法人国立病院機構
岡山医療センター

世話人 太田 康介

独立行政法人国立病院機構
岡山医療センター 診療部長

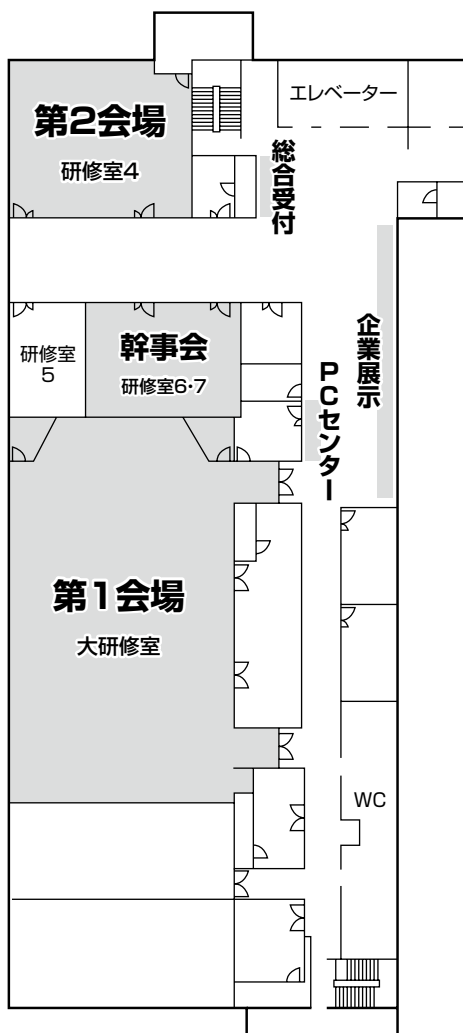
交通のご案内



国道53号線でお越しください。
山陽自動車道の高架をくぐってすぐ左側の側道へ入ってください。

会場のご案内

西棟 8F



当日は正面玄関は閉まっているので、正面玄関の左手にある救急外来へのエレベーターに乗って、2F救急外来入口から本館にお入りください。

救急外来受付を過ぎて左に曲がり、2Fフロアを抜けて渡り廊下を通り、右手にある西棟エレベーターで8Fにお上がりください。

なお、自動販売機は西棟2・3F、売店(セブンイレブンなど)は本館1Fにあります。

参加者へのご案内

1. 参加受付、参加費（現金受付のみ）

受付日時：6月15日（土）14:00～17:30

受付場所：総合受付（西棟8F ロビー）

医師	500円
企業関係者	500円
メディカルスタッフ（医師・企業の方以外）	無料

※施設年会費5,000円（1施設あたり）も総合受付にて申し受けます。

※参加証および領収書の再発行はできませんので大切に保管してください。

2. 各種単位取得

●日本透析医学会専門医・指導医認定、更新のための所定の単位

関連地方学術集会として認定されております。専門医・指導医ともに認定、更新に必要な単位のうち、5単位取得いただけます。

当日「総合受付」（西棟8F ロビー）にて、参加証を発行いたします。

認定、更新の際に、参加証のコピーが必要となりますので、各自保管してください。

参加者は5単位、筆頭発表者は $5 \times 2 = 10$ 単位（参加単位含め、合計15単位）、共同発表者は $5 \times 1/2 = 2.5$ 単位（参加単位含め、7.5単位）申請できます。

また、専門医・指導医認定、更新時の業績については、該当の抄録のコピー添付が必須です。

なお、業績は透析患者の血液浄化法に関する内容のみ対象となります。

詳細は日本透析医学会ホームページをご確認ください。

●日本医師会生涯教育制度認定単位

日本医師会生涯教育制度の認定単位として、「特別講演」を1.0単位（CC81）申請しております。

カリキュラムコード：81（終末期のケア）

当日「総合受付」（西棟8F ロビー）にて、14:00～17:30まで受付いたします。

岡山県医師会会員の先生は出席証明用のチケット帳をご持参ください。

県外などの先生方へは受講証を発行します。

- 日本腎不全看護学会 慢性腎臓病療養指導看護師 (DLN) 認定の受験・更新資格ポイント
取得対象(地方会)会へ登録されております。参加、発表に各3ポイントが申請できます。
本会参加証を保管していただき、受験・更新時の提出書類に添付して申請してください。

詳細は日本腎不全看護学会ホームページをご確認ください。

- 日本臨床工学技士会「血液浄化専門臨床工学技士」認定、更新申請の所定単位

その他の当該領域の関連勉強会・講習会・セミナー等として認定されています。

参加者は3単位申請できます。参加単位に加えて、筆頭発表者は5単位、共同発表者は2単位、座長は10単位申請できます。

本会参加証を保管していただき、認定、更新申請時の提出書類に添付して申請してください。

詳細は日本臨床工学技士会「専門臨床工学技士」認定制度ホームページをご確認ください。

取得単位	単位数／ポイント数
日本透析医学会専門医・指導医認定、更新のための所定の単位	参加：5単位 筆頭発表者：10単位 共同発表者：2.5単位
日本医師会生涯教育制度認定単位 【特別講演】6月15日(土) 17:05～18:05 [第1会場]	1.0単位 (CC81)
日本腎不全看護学会 慢性腎臓病療養指導看護師 (DLN) 認定の受験・更新資格ポイント	参加：3ポイント 発表：3ポイント
日本臨床工学技士会「血液浄化専門臨床工学技士」認定、更新申請の所定単位	参加：3単位 〈加算〉筆頭発表者：5単位 共同発表者：2単位 座長：10単位

3. その他

- 1) 会場内では、携帯電話をマナーモードに設定してください。
- 2) 会場内は全館禁煙です。
- 3) 会長の許可の無い掲示・展示・印刷物の配布・録音・写真撮影・ビデオ撮影は固くお断りいたします。

4. 岡山透析懇話会ホームページのご案内

岡山透析懇話会のホームページが開設されました。プログラム等もこちらでご確認いただけます。《<http://www.med-gakkai.org/odc/>》

座長・発表者へのご案内

1. 進行情報

セッション	発表	質疑	総合討論
特別講演	60分	－	－
一般演題	7分	3分	－

- ・ 発表終了1分前に黄色ランプ、終了・超過時には赤色ランプを点灯してお知らせします。
円滑な進行のため、時間厳守をお願いします。
- ・ 演台上には、モニター、キーボード、マウスを用意いたします。
演台に上がると最初のスライドが表示されますので、その後の操作は各自でおこなってください。

2. 座長の皆さまへ

担当セッション開始予定時刻の10分前までに、会場内前方の「次座長席」にご着席ください。

3. 発表者の皆さまへ

I. 利益相反の開示

岡山透析懇話会では臨床研究の学会発表での公明性を確保するため、「筆頭発表者」の利益相反状態について自己申告を行っていただくことになりました。なお、共同発表者のものは開示不要です。

発表の際には、発表演題に関する利益相反状態の自己申告および発表スライドで開示していただくこととなりますので、当研究会ホームページより専用の書式をダウンロードしていただき、発表スライドの冒頭部にて開示ください。

II. PC発表データの受付

学会当日に発表データの受付を行います。セッション開始30分前までにPCセンターにて、発表データの試写ならびに受付をお済ませください。

受付場所：西棟8F ロビー

受付日時：6月15日（土）14:00～16:30

III. 口演セッション 試写・発表方法

- 1) 口演発表はすべてPC発表 (PowerPoint) のみといたします。
- 2) 発表データは、PowerPoint 2003～2016のバージョンで作成してください。

3) PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。発表用原稿が必要な方は各自ご準備ください。

4) 音声はご利用いただけませんのでご了承ください。

<データ発表の場合>

1) 作成に使用されたPC以外でも必ず動作確認を行っていただき、USBフラッシュメモリーでご持参ください。

2) フォントは文字化け、レイアウト崩れを防ぐため下記フォントを推奨いたします。
MSゴシック, MSPゴシック, MS明朝, MSP明朝

Arial, Century, Century Gothic, Times New Roman

3) 発表データは学会終了後、事務局で責任を持って消去いたします。

<PC本体持込みによる発表の場合>

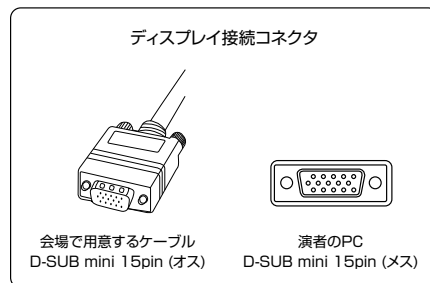
1) Macintoshで作成したものと動画を含む場合は、必ずご自身のPC本体をお持込みください。

2) 会場で用意するPCケーブルコネクタの形状は、D-SUB mini 15pin(図参照)です。この出力端子を持つPCをご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご持参ください。デジタル出力(HDMI)の端子しか無いPCはHDMI→D-SUBの変換アダプターも必要です。電源ケーブルもお忘れなくお持ちください。

3) 再起動をすることがありますので、パスワード入力は“不要”に設定してください。

4) スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。

5) 動画データ使用の場合は、Windows Media Playerで再生可能であるものに限定いたします。



(図)

幹事会のご案内

第104回岡山透析懇話会幹事会

日時：令和元年6月15日(土) 14:30より

場所：独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター

西棟8F 研修室6・7

日程表

第1会場		第2会場	
西棟8F 大研修室		西棟8F 研修室4	
15:00	14:55~15:00 開会式		
30	15:00~15:30 看護1 (1~3) 座長：岡田 順子	15:00~15:05 開会式	15:05~15:45 維持透析 (13~16) 座長：木野村 賢
16:00	15:30~15:50 看護2 (4~5) 座長：三宅よしえ		15:45~16:15 急性血液浄化 (17~19) 座長：丸山 啓輔
30	15:50~16:10 リハビリテーション (6~7) 座長：大岸 太一		16:15~16:55 腎移植 (20~23) 座長：荒木 元朗
17:00	16:10~16:30 臨床工学1 (8~9) 座長：吉川 史華		
30	16:30~17:00 臨床工学2 (10~12) 座長：藤原 千尋		
18:00	17:05~18:05 特別講演 「長寿時代のエンドオブライフ・ケア」 座長：太田 康介 講師：会田 薫子		
	18:05~ 閉会式		

第1会場（西棟8F大研修室）



開会式（14:55～15:00）

看護1

（15:00～15:30）

座長：岡田 順子（幸町記念病院）

1 当院におけるフットケアの現状～意識調査を通して～

¹医療法人三祥会 幸町記念病院 看護部, ²医療法人三祥会 幸町記念病院 外科,
³医療法人三祥会 幸町記念病院 内科

○石田 志保¹, 木村優里菜¹, 小林亜由美¹, 玉井るみ子¹, 岡田 順子¹, 西村 里見¹,
佐藤真由美¹, 秦 佳子¹, 松田 浩明², 岡 良成², 高津 成子³, 宮崎 雅史²

2 透析室チームで行う栄養指導の取り組みを開始して

(医)清陽会 東岡山ながけクリニック

○山根 昌江, 日野 奈美, 三宅よしえ, 櫻本 耕司, 長宅 芳男

3 CKD-MBD管理に対する多職種連携した取り組み

エポカルセット内服患者を対象にした取り組み

(医)創和会 しげい病院 血液浄化療法センター

○中尾 敦子, 小林 麻弓, 辻 卓矢, 大橋 千穂, 井上 宏美, 小林 愛美, 松永 幸子,
石原 敦子, 田中 佳江, 松田 佳子, 本多 雅亮, 森安 哲也, 上田 進, 有元 克彦

看護2

（15:30～15:50）

座長：三宅 よしえ（東岡山ながけクリニック）

4 当院でのPKD透析患者聞き取り調査～家族への取り組み～

¹津山中央記念病院 透析センター, ²津山中央記念病院 内科

○竺原 順恵¹, 坂本さゆり¹, 堀家 英之², 前田 洋子¹

5 療法選択説明実施の現状と今後の課題

国立病院機構岡山医療センター 透析センター

○竹本恵津子, 石井 照美, 高坂 明省, 西村真理子

リハビリテーション

（15:50～16:10）

座長：大岸太一（川崎医療福祉大学）

6 外来透析患者に対する透析前集団体操の取り組みについて

¹重井医学研究所附属病院 リハビリテーション部, ²重井医学研究所附属病院 臨床工学部,

³重井医学研究所附属病院 看護部, ⁴重井医学研究所附属病院 診療部

○隠木 彩¹, 森安 静香¹, 藤本 直樹¹, 松岡加津代¹, 松久保 稔¹, 畑 綾子²,
橋本 栄子³, 川口 法子³, 真鍋 康二⁴

7 アシクロビル脳症後に廃用症候群、脳梗塞を合併した血液透析患者へのチームアプローチ

¹(医)創和会 しげい病院 リハビリテーション部, ²(医)創和会 しげい病院 看護部,

³(医)創和会 しげい病院 医局

○木村 亮¹, 西濱 美絵¹, 水本 裕子², 松原 龍也³, 有元 克彦³

臨床工学 1

(16:10~16:30)

座長：吉川 史華 (川崎医科大学 ME センター)

8 PVPアレルギー発生の機序解明に示唆に富む1症例

(医) 清陽会 ながけクリニック

○門崎 弘樹, 藤中 正樹, 田淵 裕哉, 高尾 愛莉, 逸見 典子, 合田 諒平, 松本 和広,
長宅 芳男

9 BV (Blood volume) 計から得られたBV波形の臨床的解析の試み

¹おおうみクリニック, ²姫路医療専門学校, ³兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科

○山本 英則¹, 田中 智之², 若狭 舞¹, 西村 治彦³, 大海 庸世¹

臨床工学 2

(16:30~17:00)

座長：藤原 千尋 (岡山大学 血液浄化療法部)

10 患者監視装置トラブル対応トレーニングの効果

なんば内科クリニック

○柏原 勝彦, 亀山 陽子, 安友 隼人, 山本 知鶴, 坪田 渉, 加藤 聡子, 東田 祥吾,
難波 清人

11 透析液供給装置の濃度異常による送液停止トラブルを経験して

(医) 清陽会 ながけクリニック

○高尾 愛莉, 門崎 弘樹, 藤中 正樹, 田淵 裕哉, 逸見 典子, 合田 諒平, 松本 和広,
長宅 芳男

12 当院人工透析センターにおけるBCPと災害対策の取り組み

¹公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 臨床工学部 人工透析センター支援室,

²公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 看護部門 人工透析センター

○三宅 弘之¹, 安藤 誠¹, 若林 朋美¹, 藤井 佑希¹, 香西 功丈¹, 村上 卓也²,
山下 美幸², 中山加奈子², 奥田 綾², 戎谷 典子², 岡本 裕美²

特別講演

(17:05~18:05)

座長：太田 康介 (独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 診療部長)

「長寿時代のエンドオブライフ・ケア」

東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣講座 会田 薫子

閉会式 (18:05~)

第 2 会場 (西棟 8F 研修室 4)

開会式 (15:00~15:05)

維持透析

(15:05~15:45)

座長：木野村 賢 (岡山大学 腎免疫内分泌代謝学)

13 総腎容積の大きい常染色体優性多発性嚢胞腎 (ADPKD) を原疾患とする末期腎不全に対し腹膜透析を導入した一例

川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学

○板野 精之, 岩倉 主, 梅野 怜奈, 山本 稔也, 山内 佑, 内田 篤志, 角谷 裕之,
長洲 一, 春名 克祐, 佐藤 稔, 佐々木 環, 柏原 直樹

14 当院における血液透析導入患者の状況

¹笠岡第一病院 内科, ²笠岡第一病院 透析部, ³タカヤクリニック

○原田 和博¹, 宮島 厚介¹, 亀鷹 孝行², 藤井美佐子², 川上 敦司³, 木曾 光則³

15 骨粗鬆症治療施行した維持血液透析患者4例

診断・治療選択・非定型骨折・心血管病変について

岡山中央奉還町病院 内科

○森岡 茂, 斎藤 大輔

16 動脈の表在化を含む多数回のシャント手術が関与したと思われる両上肢壊疽の1例

(医)社団十全会 心臓病センター榊原病院

○清水 明德, 河本 浩子

急性血液浄化

(15:45~16:15)

座長：丸山 啓輔（岡山済生会病院）

17 高度溶血性貧血から急性尿細管障害をきたしたと考えられたEVANS症候群の1例

¹岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学, ²岡山大学大学院 血液浄化療法部,

³岡山大学大学院 輸血部, ⁴岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 血液浄化療法人材育成システム開発学

○松岡奈津実¹, 木野村 賢², 渡辺 晴樹¹, 田邊 克幸², 藤井 伸治³, 杉山 齊⁴,

佐田 憲映¹, 和田 淳¹

18 クレゾール中毒により急性腎障害を合併し急性血液浄化療法を要した1例

¹倉敷中央病院 腎臓内科, ²倉敷中央病院 小児科, ³重井医学研究所附属病院 内科

○西川 真那¹, 島田 典明¹, 正吉 志帆¹, 川副 智宏¹, 澤木 了¹, 生田 悠¹,

澤田真理子², 神崎 資子¹, 福岡 晃輔¹, 福島 正樹³, 浅野健一郎¹

19 敗血症性の急性腎障害に対し血液透析を施行し離脱し得た生体腎移植患者の一症例

¹独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 腎臓内科,

²独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 感染症内科,

³独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 腎臓移植外科

○寺見 直人¹, 山崎 浩子¹, 中納 弘幸¹, 中土井崇人¹, 山田 晴士², 藤原 拓造³, 太田 康介¹

腎移植

(16:15~16:55)

座長：荒木 元朗（岡山大学 泌尿器科）

20 移植腎に対する免疫抑制剤漸減に伴い発症したニューモシスチス肺炎の一例

岡山済生会総合病院 腎臓病センター

○小國 舜介, 田村 友和, 石原 深雪, 野村 祥久, 桃木 律也, 丸山 啓輔, 平松 信

21 腎移植後に発生し治療により完治したリンパ嚢腫の2例

¹岡山大学病院 泌尿器科, ²岡山大学病院 腎臓内科

○窪田 理沙¹, 荒木 元朗¹, 和田耕一郎¹, 河村 香澄¹, 丸山 雄樹¹, 光井 洋介¹,

西村 慎吾¹, 山下 里美¹, 佐古 智子¹, 枝村 康平¹, 小林 泰之¹, 渡邊 豊彦¹,

那須 保友¹, 加納 弓月², 北川 正史², 田邊 克幸², 杉山 齊², 和田 淳²

22 生着20年以上の腎移植レシピエントのプロフィール

¹独立行政法人国立病院機能岡山医療センター 外科,

²独立行政法人国立病院機能岡山医療センター 腎臓内科,

³独立行政法人国立病院機能岡山医療センター 泌尿器科

○藤原 拓造¹, 高橋 達也¹, 向原 史晃¹, 中土井崇人², 寺見 直人², 太田 康介², 久住 倫宏³

23 岡山県における献腎移植の状況

(公財)岡山県臓器バンク

○安田 和広, 田中信一郎